

### 第3回 首都圏空港機能強化技術検討小委員会

日 時 平成26年1月31日（金） 10:00～12:00

場 所 中央合同庁舎3号館11階 特別会議室

#### 主なご意見

##### 【羽田空港】

- D滑走路を3000mに延長すれば、長距離便の離陸も可能となり、空港容量も増加するのではないか。この場合、着陸ポイントは現位置とすれば、船舶との影響は現状のままとなる。メリットとデメリットがあると思うが、検証は必要。
- 新規滑走路の配置にあたっては、空港容量の拡大効果や空港運用の柔軟性を考慮したうえで引き続き検討すべき。
- 方面別や近距離と長距離の便の比率により、騒音影響が変わると考えられるため、今後考慮すべき。
- 飛行経路、滑走路、騒音等の検討はそれぞれに関連することから、これらをシンプルに組み合わせた整理をすべき。

##### 【成田空港】

- 施設配置の検討にあたっては、都心方面への二次交通への接続や国際線と国内線の乗り継ぎの利便性にも配慮をすべき。
- 新規滑走路の配置にあたっては、地上走行距離の短縮の観点から、新ターミナルの配置も検討すべき。
- 地上走行距離を短縮するため、A滑走路とB滑走路を結ぶ誘導路を北側に新たに設置することも検討した方が良いのではないか。
- 管制塔から滑走路端までの視認性を確保するため、新たに高い管制塔を設置し、既存の管制塔は危機管理の観点からバックアップ用としてはどうか。あるいは、新たに管制塔を設置し、既存の管制塔と合わせて2つで運用する事例も海外空港ではあるので、そのような検討も必要。

##### 【両空港共通事項】

- 安全性を確保しつつサービス水準を向上させる方策を検討すべき。
- どの程度の将来を想定して検討をしているのか、明確にすべき。

- 各種検討、シミュレーションを行った際の前提条件は、整理してきちんと示すべき。
- トーイングカーの滑走路横断をスムーズにすれば時間値が向上するのではないか。
- 発着回数の単位が時間単位、日単位、年単位とバラバラになっているので理解がしづらいため、揃えるべき。

以上